

氏名： 刑部 育子 (GYOBU Ikuko)  
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系  
職名： 准教授  
学位： 教育学修士 (東京大学)  
専門分野： 発達心理学・保育臨床学  
E-mail： gyobu.ikuko@ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード / Keywords

幼稚園におけるフィールド研究／観察ツール／アートと学習  
Field Study in Kindergarten / Observation tool / Learnig theory through Art

#### ◆主要業績

総数 (5) 件／特許 (1) 件

- Ikuko Gyobu & Masashi Toda (2008) " Scene-Commentary Device: A Tool for the Immediate Reflection over Observed Episodes", Proc. of World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia and Telecommunications (ED-MEDIA2008), pp.5635-5639.
- 刑部育子 (2008) 図画工作・美術科授業の可能性—幼児教育・学習論の立場から. 美術科教育学会第 30 回研究発表概要集, p. 12.

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

- (1) 科学研究費 (萌芽研究) による教育実践フィールドに有効な観察調査ツール開発を進め、第一バージョンの成果を国際教育工学会 ED-MEDIA2008 で発表し、受賞しました。さらにこの観察ツールの発展系としてコンセプトの異なる第二バージョンの開発を行い、特許に申請しました。
- (2) 附属小学校のアート部との連携研究として「アートは子どもから生まれる」の冊子を制作しました。

My research interests lie in the field of education, specifically pre-school and elementary school level. I conduct collaborative researches in the area of children's school activities with school teachers.

(1) I'm part of the observation tool development team. This tool is used for field research in education. We will use this tool as follows. In kindergarten, I will observe the activities in the morning session. Then, I and the teachers will meet and discuss my observations in the afternoon session. Here we will design the next program of activities to better suit the needs of the children. This research received an award at the ED-MEDIA 2008 world conference. Also we applied for a patent for this tool.

(2) In a primary school, I and the Art teachers developed the art curriculum with focus on sensory Arts, for example, performance art. We made a booklet about the Art classes: the title was "Art created by a child' imagination."

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

平成 20 年度学部授業として、「保育臨床学」、「人間関係学」、「保育臨床講義購読」、「保育臨床実習」、「発達臨床特別演習 I・II」ほか、を行いました。とくに、平成 18 年度より特別教育研究経費「幼・保の発達を見通したカリキュラム開発」(代表：浜口順子)が開始されており、大学と附属幼稚園と附属保育所とが連携した教育カリキュラム改革を推進中です。大学院の授業では「保育実践論演習」、「保育臨床学演習」、「乳幼児臨床学特論」を行いました。平成 20 年度に私の研究室から提出された卒業論文・修士論文として「ワークショップにおける関わりあうことと支えること」、「ニュージーランドの保育における子どもとのかかわりー比較教育的視点から」「授乳期をもつ就労／就学中の女性たちの語り」、「保育における一斉的な活動場面での子ども一人ひとりの育ちに関する研究」があります。

## ◆メッセージ

お茶の水女子大学敷地内には、日本で最も歴史ある附属幼稚園があります。また、国立大学の中で附属校として初めての保育所、いずみナーサリーが大学と同じ敷地内に設置されました。乳幼児期の教育プログラムを開発するため、大学と幼稚園・保育所が連携した研究プロジェクトが進行中です。このような学習環境が備わる中で実践的にそして専門的な保育・子ども理解・発達を学ぶことができます。